

平成26年度  
伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟新人柔道大会 要項

- 1 主催 伊勢崎市佐波郡教育委員会連絡協議会  
伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟
- 2 主管 伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟 柔道部
- 3 大会期日 平成26年10月4日(土) <男女団体戦> <男女個人戦>  
7時00分 開場  
7時50分 集合、計量・柔道衣検査(8:30終了)  
8時30分 審判会議  
8時45分 開会式  
9時00分 試合開始
- 4 会場 伊勢崎市境武道館 0270-74-3905  
スポーツ振興課 0270-74-1113
- 5 審判規定 国際柔道連盟試合審判規定(2014施行の新ルール)および「少年大会申し合せ事項」による。また、全柔連が定める団体戦の勝敗決定方法を含める。ただし、佐波伊勢崎中体連申し合わせ事項を優先する。
- 6 選手 (1)男子団体戦は、各学校単位編成とし、監督1名、選手5名、補員2名とする。  
(2)女子団体戦は、各学校単位編成とし、監督1名、選手3名、補員1名とする。  
(3)選手の編成は、体重の最も多い者を大将とし、以下順次体重順に編成するものとする。なお、補員を入れるときは、順次編成替えをする。  
(4)男子団体戦で、選手が5名に満たない場合には、大将より順に編成し間に欠員を置かない。また、女子団体戦については、選手が3名に満たない場合には、先鋒を空けるものとする。  
(5)補員の充当により抜けた選手は、その日の一連の試合には再び出場できない。  
(6)男子個人戦は第1ブロックと第2ブロックの2階級、女子個人戦は1階級とする。ただし、男女とも団体戦に出場した選手は、出場できないものとする。
- 7 試合時間 《団体戦》予選リーグ2分 決勝トーナメント3分  
《個人戦》2分
- 8 試合方法 《団体戦》団体戦における優勢勝ちの判定基準に「僅差」を取り入れ、その内容に満たない場合は「引き分け」とする。「僅差」勝ちとは、「指導」差が2段階以上あった場合、「指導」の少ない選手を優勢勝ちとする際の名称とする。  
(1)男子は1組2または3校のリーグに分け、各組で予選リーグ戦を行い、各組の上位2校、8校によるトーナメント戦を行う。女子は1組4校の2リーグに分け、各組で予選リーグ戦を行い、各組の上位3校、6校によるトーナメント戦を行う。  
(2)リーグ戦の各試合の勝敗は、次の順によって決定する。  
(ア) 勝ち数による。  
(イ) (ア)において同等の場合は、「一本による勝ち」の数による。  
(ウ) (イ)において同等の場合は、「技ありによる勝ち」の数による。  
(エ) (ウ)において同等の場合は、「有効による勝ち」の数による。  
(オ) (エ)において同等の場合は、引き分けとする。  
(3)リーグ戦の順位は、次の順によって決定する。  
(ア) チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。  
(イ) (ア)において同率の場合は、勝ち数による。  
(ウ) (イ)において同等の場合は、「一本による勝ち」の数による。  
(エ) (ウ)において同等の場合は、「技ありによる勝ち」の数による。  
(オ) (エ)において同等の場合は、「有効による勝ち」の数による。  
(カ) (オ)において同等の場合は、代表戦により決定する。

- (4) トーナメント戦の各試合の勝敗は、次の順によって決定する。
- (ア) 勝ち数による。
  - (イ) (ア)において同等の場合は、「一本による勝ち」の数による。
  - (ウ) (イ)において同等の場合は、「技ありによる勝ち」の数による。
  - (エ) (ウ)において同等の場合は、「有効による勝ち」の数による。
  - (オ) (エ)において同等の場合は、代表戦により決定する。

《個人戦》

- (1) 男子は2階級、女子は1階級でトーナメント戦を行う。
- (2) 個人戦における判定基準は、「有効」または「指導1」以上とすが、2分間の試合時間における試合態度、技の巧拙等を比較して、必ず勝敗を決する。

9 表 彰 団体戦の優勝校には優勝杯及び賞状を授与し、準優勝校には準優勝杯及び賞状を授与し、第3位校には賞状を授与する。個人戦は、各階級の優勝者に賞状を授与する。

10 代表資格 《男女団体戦》  
優勝校及び準優勝校、3位校が代表資格を持ち、県大会に出場する。なお、4位校を補欠校とする。(9月11日(木)の県運営委員会で決定となる。)  
《男女個人戦》  
県大会は実施されないので、代表としての資格は持たない。

11 佐波伊勢崎中体連申合せ事項  
《団体戦》  
(1) 男子予選リーグの順位を決定する代表戦の試合時間は2分とし、得点差がないときは延長戦(ゴールデンスコア)2分により勝敗を決する。試合終了時同等の場合は、旗判定により必ず勝敗を決する。  
(2) 決勝トーナメントにおける代表戦の試合時間は3分とし、得点差がないときは延長戦(ゴールデンスコア)2分により勝敗を決する。試合終了時同等の場合は、旗判定により必ず勝敗を決する。

《個人戦》

- (1) 得点差がないときは旗判定を行い、必ず勝敗を決する。延長戦は行わない。

12 その他 (1) 選手は規定のゼッケンをつける。ゼッケンのない者は、出場できない。なお襟から5~10cm下に下記のように付ける。  
(2) 全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣、下穿)を着用する。  
(3) 相手を威圧するような行為(染髪・眉剃り等)をしている生徒は、出場できない。  
(4) 脳震盪対応について、選手および指導者は下記事項を遵守すること。  
① 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。  
② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急、専門医[脳神経外科]の精査を受けること。)  
③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。  
④ 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。  
(5) 試合時の帯の色は、若番(対戦表の上または左)を赤とし、古番(下または右)を白とする。  
(6) 試合当日、「団体戦参加申込書」とともに、団体戦の対戦用に下のメンバー表(模造紙1/4)を男子は2部、女子は1部を受付へ提出する。  
(メンバー表)

先	次	中	副	大	学
					校
					名
					補員
(白模造紙1/4 または B4を2枚)					

